

平成 28 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 タ マ ホ ー ム 株 式 会 社  
 住 所 東 京 都 港 区 高 輪 三 丁 目 22 番 9 号  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兼 CEO 玉 木 康 裕  
 (コード番号：1419)  
 問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 部 部 長 齋 木 洋 成  
 TEL. 03-6408-1200

### 特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 5 月期におきまして、特別損失として減損損失の計上および最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 7 月 14 日に公表した平成 28 年 5 月期の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 特別損失の計上

当社グループは、効率的な事業運営を行うため、適宜、展示場の新設・移転・リニューアル・統廃合を行っております。当第 3 四半期において移転、リニューアルに伴い減損損失を 47 百万円計上いたしました。また、第 4 四半期において移転および統廃合を実施し、それに伴う減損損失を 84 百万円計上することを本日開催の取締役会で決定いたしました。

その結果、通期の特別損失の見通しは、第 2 四半期までに計上した固定資産除却損 143 百万円およびリース債務解約損 13 百万円等を含め、287 百万円となりました。

また、連結子会社の不振に伴い、関係会社株式評価損 205 百万円、関係会社貸倒引当金 158 百万円、関係会社事業損失引当金等 241 百万円を特別損失に計上いたしましたが、当該特別損失は、単体業績にのみ計上され、連結業績への影響はありません。

#### 2. 業績予想の修正について

平成 28 年 5 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 153,700	百万円 2,800	百万円 2,800	百万円 1,000	円 銭 33.27
今回発表予想 (B)	137,700	1,000	300	△800	△26.62
増減額 (B-A)	△16,000	△1,800	△2,500	△1,800	—
増減率 (%)	△10.4	△64.3	△89.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 5 月期)	149,570	2,284	2,016	△641	△21.34

## 修正の理由

当社グループの主力事業である住宅事業において、足元の受注は前年同月を上回る堅調な動きとなっているものの、当事業年度上期の受注棟数は、消費増税後の消費マインドの回復には至らず計画の約86%にとどまりました。

そのため、受注残物件において、一層の着工管理・工期短縮を図り、当期計画の進捗に努めてまいりました。しかしながら、職人の確保の難航、一部資材の供給に問題が生じたこと等により、着工および工事進捗の大幅な前倒しには至らず、当期計画していた売上が翌期にずれ込むこととなりました。その結果、引渡棟数の通期見通しは計画の約90%にとどまり、売上高および営業利益が期首発表予想を下回ることとなりました。

営業外損益については、円高の影響による海外事業への投融資分の為替差損230百万円、連結子会社にて販売した太陽光パネルの是正工事費用を含む雑損失88百万円、グループ全体における事業用資金の借入に伴う支払利息等の増加分を営業外損益に計上したことにより、経常利益が期首発表予想を下回ることとなりました。

また、タマホーム単体における展示場の移転等に伴う減損損失等を特別損失に計上することとした結果、親会社株主に帰属する当期純利益が期首発表予想を下回ることとなったため、通期業績の見通しを修正いたします。

なお、平成28年5月期の配当につきましては、平成27年7月14日に公表しましたとおり、期末配当として1株当たり10円を予定しております。

※上記の業績予想は、現時点において合理的と判断できる情報に基づき判断したものであり、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以 上